

2023年5月26日、パリ

## プレスリリース

### フランスが2025年大阪・関西万博への公式参加契約書に署名

2018年11月23日、国際博覧会事務局加盟国は、2025年の万博開催地として大阪市を選定しました。1970年の万博に続き、日本の美食の都大阪での開催は今回で2度目となります。

このプロジェクトの重要な一歩として、フランスは本日、2025年大阪・関西万博石毛博行事務総長、フランス館ジャック・メール総監督ならびにセトン駐日フランス大使の立会いのもと、正式に調印式を行い、万博への参加を決定しました。

オリヴィエ・ベシュト・ヨーロッパ・外務大臣付貿易・誘致・在外フランス人担当大臣は、「このたびの公式表明により、フランスのこの大きなイベントへの参加がより具体的になったことを嬉しく思います。昨今のチューズ・フランス・サミットで世界中の投資家が賞賛した我が国の影響力、製品、ノウハウ、イノベーションにおけるリーダーシップと魅力が約束されています。」と述べています。

2025年大阪・関西万博は、明日の社会づくりのための専門性と革新性の実験場となることを目指しています。世界の専門家が集まり、国連の持続可能な開発目標に関連した新しいアイデアを発表・デザインし、より多くの人々に共有されます。

フランス館は、日本館や万博の正面玄関に近い「いのちに力を与える」ゾーンに設置される予定です。

経済的、社会的、文化的資産のショーケースとして、フランスの影響力と世界中から訪れる観光客への魅力に貢献します。

フランス館の総監督であり、**COFREX SAS**の社長であるジャック・メール氏は、「**2025**年大阪・関西万博へのフランスの参加契約書への署名は、数ヶ月に及ぶ綿密な準備と日本の友人との非常に前向きな対話の集大成です。私たちが受けた歓迎と私たちのパビリオンのスペースは、**2025**年の大阪を日仏関係にとって特別な年にするための動機付けとなっています。」と述べています。

大阪・関西万博は、**2025**年4月13日から**2025**年10月13日まで大阪で開催され、約**2800**万人の来場者を迎える予定です。大阪湾に浮かぶ人工島「夢洲」で行われ、**155**ヘクタール以上の広大な敷地に、建築家・藤本壮介氏が設計を担当したパビリオンは、直径**615**メートル、周囲**2**キロメートルの「ルーフリング」で結ばれます。

大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマに基づき、**3**つのサブテーマで構成されています：

- 「いのちを救う」：病気と闘い、より健康的な生活を送る、
- 「いのちをつなぐ」：文化間の理解を促進し、イノベーションを導入する、
- 「いのちに力を与える」：人工知能とロボットの時代の教育と雇用を想像する。

→ [www.expo2025.or.jp](http://www.expo2025.or.jp)

#### 2018年1月設立の公営企業COFREX

SASは、万国博覧会や国際博覧会へのフランスの出展の事前準備、組織、実施を専門とする初の常設機関です。これまでの展示会の経験に基づき、コストと負担を最小限に抑えつつ最高のパフォーマンスを発揮する、サステナブルなアプローチを実現します。官と民のパートナーシップで構成されています。フランスのイメージと魅力を打ち出します。

→ [www.cofrex.fr](http://www.cofrex.fr)

#### プレスに関するお問い合わせ

オリヴィエ・ベシュト事務所  
+33 1 43 17 73 20  
[presse.comext@diplomatie.gouv.fr](mailto:presse.comext@diplomatie.gouv.fr)

COFREX  
ナタリー・メルシエ  
コミュニケーション・プログラミング担当ディレクター  
+33 6 14 61 91 73  
[nathalie.mercier@cofrex.fr](mailto:nathalie.mercier@cofrex.fr)